

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

## 【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年9月27日(2012.9.27)

【公開番号】特開2011-37245(P2011-37245A)

【公開日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-008

【出願番号】特願2009-189587(P2009-189587)

## 【国際特許分類】

B 4 1 M 5/382 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 M 5/26 1 0 1 H

## 【手続補正書】

【提出日】平成24年8月10日(2012.8.10)

## 【手続補正1】

### 【補正対象書類名】明細書

### 【補正対象項目名】 0 0 8 3

### 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

[ 0 0 8 3 ]

次に、溶剤の環流を確認後、イソホロンジイソシアネート（表1中IPDI）30部を添加して重合し、ウレタンプレポリマーを合成した。更に、25条件下でエチレンジアミン2.75部、イオン交換水170部をホモジナイザーを用いて攪拌し、これにウレタンプレポリマーを投入した後、鎖延長が完了するまで攪拌した。これを40、減圧条件下で攪拌しながら脱溶剤及び脱水を行い、ウレタン分散体（35%固形）を得た。このウレタン分散体290gとイオン交換水60gを環流冷却器を備えた反応器に仕込んで攪拌し、75まで昇温した。これにPEMA（フェノキシエチルメタクリレート）100部と過硫酸カリウム触媒水溶液とイオン交換水100gを2時間かけて滴下し、さらに1時間攪拌を続けて樹脂組成物Aに用いるラテックスを作製した。なお、樹脂組成物B～Vに用いるラテックスも同様にして作製することができる。

## 【手続補正2】

### 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 8 6

### 【補正方法】変更

### 【補正の内容】

【 0 0 8 6 】

表 1 由 P

w 1 0 0 0 ) クラレ製 クラレポリオール、脂肪族ポリエステルポリオール)、T 5 6 5 2 ( 1 , 6 - ヘキサンジオール系ポリカーボネート ( M w 1 0 0 0 ) 旭化成製 デュラノール、脂肪族ポリカーボネートポリオール)、U E 3 3 2 0 ( フタル酸系ポリエステルジオール ( M w 2 0 0 0 ) ユニチカ製 エリーテル)、2 2 0 A L ( カプロラクトンジオール ( M w 1 8 0 0 ) ダイセル化学製 プラクセル)、W B 4 0 - 1 0 0 ( 水分散ポリイソシアネート 旭化成製 デュラネート)、D Z 2 2 E ( アジリジン基含有化合物 日本触媒製 ケミタイト)、K 2 0 3 0 E ( オキサゾリン基含有ポリマー 日本触媒製 エポクリス)、E 0 1 ( カルボジイミド基含有ポリマー 日清紡ケミカル製 カルボジライト) である。